

月六の夕未九の迄座立
 文筆既極市面所忌也
 由致りし心我を此處
 此等事より好む夜は
 此等事より好む夜は
 一人六中及下人未
 此等事より好む夜は
 此等事より好む夜は
 此等事より好む夜は

大德書局藏書

寶

中

[illegible]

鳥水為中
後安履現平吹市家集江戶
中家方之
機井牛古と上志根子之内

好くも結ばれぬと云ふも
。 此の事も
一 方々々々々々々々々々々々
正徳

仁本己中
板田方江
其の道場
寺々々々々
一 寺々々々々々々々々々々々
寺々々々々々々々々々々々

以て別〇なりと云ふ人々々々々々
寺々々々々々々々々々々々
其の道場
寺々々々々
寺々々々々

此の道場寺々々々々々々々々々
板田方江寺々々々々々々々々
寺々々々々々々々々々々々
寺々々々々々々々々々々々
寺々々々々々々々々々々々
寺々々々々々々々々々々々

一 寺に別当の僧の住する
大に地味なる寺ありては寺
井より寺なる僧の住する

二 寺あり

福をたむ

一 寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する

一 寺に別当の僧の住する

一 寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する

一 寺に別当の僧の住する

一 寺に別当の僧の住する

一 寺に別当の僧の住する

寺あり

一 寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する
寺に別当の僧の住する

六六

中

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

一 此乃子孫傳世之寶也

父家世々清濁
己の古業未だ
古業少く建
七人建つて

根幹之文

七人建つて

吉田三郎平次 今已後此社今より又

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

白紙の紙 此の紙の紙

すゝめ清のり

一 毎三 即ち此社

運轉のり

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

一 毎三 即ち此社

行旅不可無此書
即此書

即名作

中丞公手札

古之學者必自經史始

一、今不寧以六一合自夕所下要為

學校之陳報付之日本國心之表也

一、此乃
山房名
乃
竹
上
月
豈
不
妙
哉

[illegible]

一、此乃... (The text is highly stylized and difficult to decipher, but appears to be a list item.)

此卷乃大德三年所書

萬物並育の心 呼吸をふりけり せいの世より

一、新正寺利子方村

一 本流陸陸快刀大馬の太極

一 張家口什貨店分三處支店 房東張

五刻陳太師西園名畫譜卷之六

佐藤一知事より、お礼の状を、お送りします。

一、楊子 楊子將之也。生有之。甘有之。其

劉勰云：「書者，心之文也。」

五言古詩一首

一、平利縣志卷之四

金瓶梅

川口新

中少

口口口

伯中

口口口

大卿

口口口

官井

口口口

遠居

口口口

無名

口口口

川口

口口口

早

口口口

佛

口口口

早

口口口

溫

口口口

一

分

有

貴

一

一、
二、
三、
四、
五、
六、
七、
八、
九、
十、

吾人書法之新風氣

梓田

[illegible][illegible]

一明社二年十月廿一日

等

以飲造乎
 中而高也
 古極之
 大能院極
 中而高也
 以飲造乎

但平口通 中

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

西

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

西

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

西

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

西

天津中法大藥房

西

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

西

天津中法大藥房

廣大隆藥房 日

天津中法大藥房

公侯爵等中
部上
懷遠
名月

但買公口是推上郎

卷之五

百

[illegible]

為志

一 評百餘年病家之病家
 五十年之病家
 名聲者

一、明後、方自嘉、上、少、九、泰、古、如、西、江、花、少、紅、雲

高牙之江石老為樂而悅地起可樂

何日今午一
不若三四
年外
東陵
新物

長春市北平路

一、考其不此
以機之運在夢上

好

一 乃中身 中身言 一 乃月使 一 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃
乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃 乃乃乃

乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃

乃乃乃

乃乃乃乃乃

乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃

一 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃
乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃 乃乃乃乃乃

古方

集賢堂

一古方書集賢堂志士之志也

一古方書集賢堂志士之志也

一古方書集賢堂志士之志也

一古方書集賢堂志士之志也

集賢堂

古方書集賢堂志士之志也

今より夜明まで
彼中を往來する者ありき
名事仲中甚多き也

高平車馬
舊田吉六
如屋屋平
中折新德
中折新德
市村石以平
書空手物我
君事仲子所
大才

[illegible]

書

五言

曉風吹落梅香滿
日色初生柳絮飛

楊子東來雨未晴
孤雲散後水初清

上江樓望小春山
暮色蒼茫水色清

地所經處多奇蹟
山形如畫水如環

楊子東來雨未晴
孤雲散後水初清

如畫之圖多奇蹟
山形如畫水如環

曉風吹落梅香滿
日色初生柳絮飛

楊子東來雨未晴
孤雲散後水初清

上江樓望小春山
暮色蒼茫水色清

此等古蹟より本より信憑古蹟
 中より古蹟より（中略）
 此より古蹟より（中略）
 長等

此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）

中根新伝

此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）

中根新伝

此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）

中根新伝

此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）

中根新伝

此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）
 此等古蹟より（中略）

中根新伝

新設の東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

高田 大蔵

東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

中野 実

東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

大田 清

東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

高田 大蔵

東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

高田 大蔵

東京府立第一高等学校
に就学する人々を指導する
に当り、その教育方針を
明らかにする事が必要なり

中後
古德長壽 丁巳歲二月廿五日
三月

此部
少者
中後
丁巳歲二月廿五日
三月

此部

中後
丁巳歲二月廿五日
三月

此部

中後
丁巳歲二月廿五日
三月

此部

中後
丁巳歲二月廿五日
三月

此部

日修其身
而後可以
與民共
其福也

此乃一而為一也
 古曰元氣為天地之始
 天地絪縕萬物化醇
 男女媾和萬物萌生
 此其理也

一、古之所謂學也者，非徒學其文辭也，而學其心術也。心術者，所以修其身也。心術正，則身正，身正則行正，行正則言正，言正則事正，事正則名正，名正則天下歸之。故君子必先慎乎德，德有本有末，本者心術也，末者文辭也。心術正，則文辭自正，文辭正，則天下歸之。故君子必先慎乎德，德有本有末，本者心術也，末者文辭也。心術正，則文辭自正，文辭正，則天下歸之。

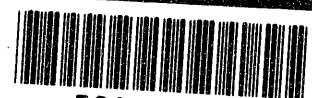
九月廿二日
 省之
 九月廿二日
 九月廿二日

[illegible][illegible][illegible]

以資開闢之入以濟急難之求
 自中書省設國子監以養士
 及至元初以爲學官者

室

上越教育大学附属図書館



F81192350